

# 不登校対策支援プラン

## プランの策定にあたって

更新日 4 月 1 日

県内において不登校児童生徒数が増加傾向にある中、不登校対策では、対象や課題性に基づいた取組が求められています。全ての児童生徒を対象とした取組や不登校の予兆が見られる児童生徒への支援、欠席が継続している児童生徒への支援を組織的かつ計画的に行うことが必要です。

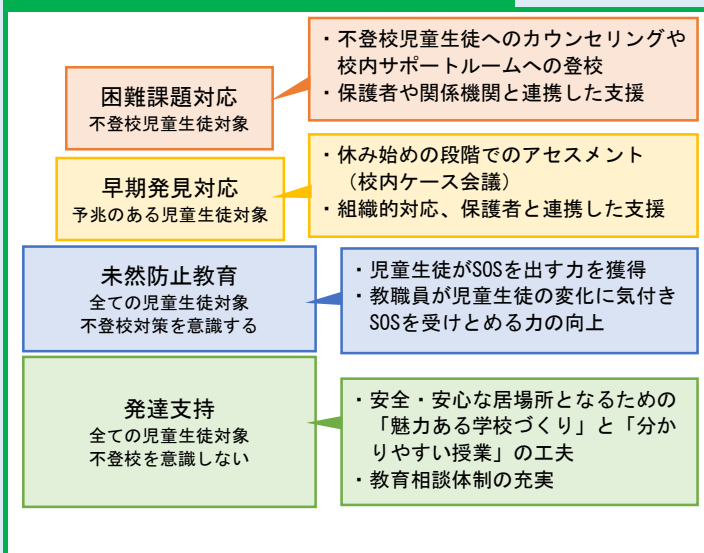
本校では、実態を把握し、以下の目標や取組を設定し、教職員が一丸となり対策を進めることで、誰一人取り残すことのない、持続可能な不登校対策や支援を行います。

## 不登校対策の目標

- 1 一人一人の人権が大切にされ、夢と自信を持つ児童の育成をめざす教育課程を実践する。
- 2 「明日も学校へ行きたな」と思える魅力ある授業づくりに取り組み、全児童が安心して登校できる環境を整える。
- 3 すべての不登校の傾向が見られた児童に対して、スクールカウンセラーや関係機関等と連携し、誰一人取り残さないように支援する。

## 不登校対策における重層的支援構造

参考：生徒指導提要R4.12



## 不登校対策チーム構成

管理職  
生徒指導（不登校）担当  
養護教諭、スクールカウンセラー  
スクールソーシャルワーカー  
特別支援コーディネーター  
該当担任

## 不登校児童生徒支援関係機関等

学校問題サポートチーム  
しろう学校サポートチーム  
学校運営協議会委員（PTA代表含）  
民生委員児童委員、主任児童委員  
宍粟市立教育支援センター

## 4つの層での取組 等

### 発達支持

- ・安心して生活するために、共感的な生活指導を行う。
- ・SSTの機能を取り入れた授業を行い、多様性を認め合いながら学習できる集団づくりをする。

### 未然防止教育

- ・SCと担任が連携し、予防的な取組として、こどものコミュニケーションスキルを高める関わりを行う。
- ・職員会議での「神野っ子を語る」で、児童の情報交換や共通理解の場とする。

### 早期発見対応

- ・健康観察、個別面談、家庭訪問、学校生活アンケートやいじめアンケート、QUアンケート、保護者アンケートなど利用して、小さな変化も見逃さないようにする。

### 困難課題対応

- ・校内に別室を設置し、安心して過ごせる場所を確保する。
- ・オンライン等ICTを活用して、学習支援を実施する。